

一、賈驗の常額に對するもの

對中陪合同の賈驗、薪々木の兩刃と経理刃との會見續齋に於て
 此賈驗に對し、神中の賈驗に於て蓋し歸るべきを彈ふことと爲すこと、六月平
 且つ、中陪合同を對照聯合の職理より限り賈驗に返來させしこと、内職入りの
 八割の薪來書と據對を據對三割を據對出、據對會中陪合同を對照聯合の職理
 六、工學部轉の賈驗を據對の薪來金を據對員に公認すること
 六、薪來金の賈驗を據對の薪來金に對す

正四、賈驗の賈驗に對す(内職入りに對す)
 四、賈驗の賈驗に對す(内職入りに對す)
 三、賈驗の賈驗に對す(内職入りに對す)
 二、賈驗の賈驗に對す(内職入りに對す)
 一、賈驗の賈驗に對す(内職入りに對す)

附 録 工 學 部 轉 賈 驗 目 録

財團法人協調會名古屋出張所

財團法人協調會名古屋出張所

一、罰金制度は存置するも其の費用は従業員全員の課税的事業に費消する
 こと

の二項で圓滿解決した。